

アケビコノハ（ヤガ科）が和歌山県白浜町に所在する 京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”へその年に定期的に 初漂着

Regular first finding of *Adris tyrannus* (Noctuidae) washed ashore on “the Kitahama beach” of the Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University, at Shirahama Town, Wakayama Prefecture, Japan in a given year

久保田 信

和歌山県西牟婁郡田辺湾の湾口に位置する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”に、アケビコノハ *Adris tyrannus* の翅が、一定の季節になると、バラバラになって打ち上がることもある（久保田，2009，2013，2014，2015）。今回，2016年11月25日，少数個体のアケビコノハの翅の漂着が今年初めて見られた。その内の1個体は上下の翅がかろうじて連結していた（図1）。

2015年は大量漂着（少なくとも268個体が12月初旬まで数度の不連続漂着）があったが，その2回目とほぼ同時期に，今年もアケビコノハの漂着が見られた。本記録を含めて，これまでこの地点で2008年から2016年までの9年間に，5年にわたって秋季に定期的な漂着開始があったことになる（表1）。期日としては，その年の10月中旬から11月下旬に生じており，約1か月程度のずれが見られるが，季節は決まって秋である。

表 1. アケビコノハの京都大学瀬戸臨海実験所
“北浜（和歌山県白浜町）”への各年における初漂着
日とその時の翅の数

年	初漂着日	その時の翅の数 (左右の前翅数+左右の後翅数)
2008	11月15日	0+1
2013	10月31日	7+12
2014	10月18日	数個体
2015	11月 4日	214+167
2016	11月25日	1*+3*

* 内1個体では片側の前後翅が連結



図 1. 2016年11月25日に漂着したアケビコノハ
の翅（前後が連結）

引用文献

久保田 信 . 2009.アケビコノハ（ヤガ科）複数個体が2008 年 11-12 月に和歌山県田辺湾の浜辺へ漂着 . KINOKUNI, (75): 5.

久保田 信 . 2013.アケビコノハ（ヤガ科）の多数個体が20013 年秋に和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”へ漂着 . KINOKUNI, (84): 25.

久保田 信 . 2014.アケビコノハ（ヤガ科）が2014 年秋に和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”へ漂着 . KINOKUNI, (86): 24.

久保田 信 . 2015.約 268 個体のアケビコノハ（ヤガ科）が2015 年秋に和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”へ漂着 . KINOKUNI, (89): 11-13.

（くぼた しん 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所）